事業番号	09 03 05

事業改善シート（令和3年度実施事業分）

□当初要求　■当初予算案　□補正予算案　□点検

事　業　名	農業大学校運営事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
		実施期間	T2　～	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp

総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）	
8つの重点目標	学びの県づくり
総合的に展開する重点政策	1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり 2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保

1　現状と課題

目指す姿・これまでの取組	**【目指す姿】** ・理論と実技を同時に学ぶ実践型の教育により、農業技術の高度化・経営の専門化に対応する知識・技術の修得が進んでいる。 ・寮生活や自らテーマを定めて行うプロジェクト学習等により、他者との協調・自己の確立等の社会性が涵養され、21世紀の農業・農村を担う優れた人材が養成されている。 **【これまでの取組】** ・農業教育の拠点として、農業技術の習得と経営改善に対応できる能力を備えた農業の担い手を養成しており、令和２年11月２日現在、農学部で117人の学生が学んでいる。 ・令和元年度卒業生は自営就農や農業法人への雇用就農、農業協同組合、農業関連企業に就職し、多くの卒業生が本県農業の振興のために活躍している。 ・平成26年度からは、企業的農業経営体の育成を目的とした実践経営者コースを開設したほか、農業経営コースの農家実習の拡充（24日→45日）、外部講師の充実等、農大全体の就農率向上のため、農大改革を進めており、就農率は35.4%(H26)から55.6%(R1)と向上している。 ・平成30年度から農産物輸出を見据え、総合農学科でＧＬＯＢＡＬ　ＧＡＰ取得支援を含むＧＡＰ講義を開始し、令和元年度からは先端技術に対応できる人材を育成するため、スマート農業に関する講義を開始しており、令和２年度は農業機械メーカーと連携し、最新のスマート農業機器を使った授業を実施。

令和2年度点検結果（令和元年度実施事業分）・現状分析	課　　題	今後の方向性
	農大改革により、卒業生の就農率は年々着実に向上しているが、長野県農業の次代を担う人材育成機関として、意欲ある学生の確保と就農率の向上が求められている。	先端技術であるスマート農業の講義及び実習の実施や外部講師による実践的講義の拡充など農大の魅力向上を図り、意欲ある学生の確保と就農率の更なる向上を目指す。

2　令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組（予定）	**○次代の担い手育成・確保に向けた農業大学校の充実** ・ＡＩ、ＩＣＴ、ロボット技術等のスマート農業に関する授業を充実強化 ・卒業生就農者のフォローアップを実施し、営農計画の着実な達成を強力に支援 ・総合農学科実践経営者コースについて、実践力をアップするための実習の拡充や、県内先進経営者・地域で活躍する実践者などを外部講師として積極的に登用 ・新規就農里親前基礎研修（通年）、就農体験研修（４回）、農業機械利用技能研修等の開催 **○「農ある暮らし」を志向する移住者や定年帰農者などの定着を確保する取組を支援** ・農業大学校において「農ある暮らし入門研修」を開催し、農業体験等を通じて農ある暮らしを志向する移住者を支援

指標の状況及び目標値［↗：改善、↘：悪化、→：変化なし］

No	成果指標	H30年度	R1年度		R2年度末（見込）		R3年度目標値
1	農学部 卒業生就農率(%)	63	55.6	↘	67	↗	67
2	研修部 けん引免許取得率(%)	100	99	↘	90	↘	98
3	研修部 大型特殊免許取得率(%)	100	100	→	95	↘	99
4							
5							

事業コスト

区分（単位：千円）		R1年度	R2年度	R3年度
予算額	前年度繰越	0	0	
	当初予算	74,403	72,900	要求 69,738 予算案 69,622
	補正予算	0	-303	
	合計(A)	74,403	72,597	要求 69,738 予算案 69,622
	うち一般財源	43,750	45,655	要求 43,324 予算案 43,208
決　算　額(B)		70,206		
職員数（人）		30.0	28.0	28.0

成果指標設定理由	①本県農業を担う人材の育成と就農者の確保を促進するため、農大改革の主要目標である「農学部卒業生の就農率向上」を成果指標に設定。　※目標値：全国の農大トップクラスである67%に設定 ②～③研修部における農業者の実践的技術の向上を図るため、「受講者免許取得率」の向上を成果指標に設定 ※目標値：大部分の受講者が合格することを目標に、５年間（平成27年度～令和元年度）の平均値で設定

予算要求からの主な変更点	農業大学校運営費及び農業大学校施設整備費について、公用車の導入方法及び仕様を変更したことにより購入経費等を減額

事業番号	09 03 05	事業改善シート（令和3年度実施事業分）	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検

事 業 名	農業大学校運営事業	部局	農政部	課・室	農業技術課

細事業No.	細事業名	R１年度当初予算	R２年度当初予算	R３年度当初予算
1	農業大学校運営費	50,589 千円	48,758 千円	要求 48,421 予算案 49,497 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容（予定）
1	農業大学校運営費	直接	総合農学科では、先端分野であるスマート農業の授業を拡充する。 平成26年度から新設した実践経営者コース入学生に対して、より実践的な講義や実習による農業に関する知識と技術の修得教育を実施する。

細事業No.	細事業名	R１年度当初予算	R２年度当初予算	R３年度当初予算
2	実科・研究科費	6,883 千円	7,679 千円	要求 7,562 予算案 7,562 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容（予定）
1	実科・研究科費	直接	生産基盤を持つ農家出身者を主体に、農業関係試験場での実習を通じた栽培技術の習得及び就農促進のための教育を実施する。

細事業No.	細事業名	R１年度当初予算	R２年度当初予算	R３年度当初予算
3	研修部費	10,673 千円	10,207 千円	要求 9,667 予算案 9,667 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容（予定）
1	研修部費		里親前基礎研修及び里親研修、農業機械技術習得研修を通じた新規就農者の技術力向上のための研修を実施する。

細事業No.	細事業名	R１年度当初予算	R２年度当初予算	R３年度当初予算
4	農業大学校施設整備費	6,258 千円	6,256 千円	要求 4,088 予算案 2,896 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容（予定）
1	農業大学校施設整備費	直接	松代キャンパス教室の空調設備工事及び公用車の更新を実施する。